

## 東北農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日： 令和7年2月21日)

開催日及び場所		令和6年12月10日(火) 仙台合同庁舎A棟7階会議室		
委員		大泉 裕一(公認会計士・税理士) 齋藤 信一(弁護士) 佐藤 亮(ジャーナリスト)		
審議対象期間		令和6年7月1日～令和6年9月30日		
審議対象案件		122件 うち、1者応札案件 21件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件		
抽出案件		6件 うち、1者応札案件 1件 (抽出率 4.9%) (抽出率 4.8%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 -%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	2件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			工事希望型指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		随意契約	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	業務	一般競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			簡易公募型指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		随意契約	公募型プロポーザル	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			簡易公募型プロポーザル	1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			標準型プロポーザル	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の随意契約	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	物品 役務	一般競争	2件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		随意契約(企画競争・公募)	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		随意契約(その他)	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	(特記事項)		なし。	

	意見・質問	回答等
	(詳細に記述すること。)	(詳細に記述すること。)
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり。	別紙のとおり。
委員会による意見の具申又は勧告の内容  [これらに対し部局長が講じた措置]	なし。  なし。	

事務局：

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。

## 委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答等
<工事編>	
(横手西部農業水利事業 石持川幹線排水路(その14)工事)	
<p>入札執行調書に記載されている順位は、どのように決めているのか。</p> <p>11番の応札者が153.454点で一番高い点数となるのか。</p> <p>⑨評価点は価格以外の点数か。</p> <p>応札者は、自社の評価点を算定できるのか。</p> <p>応札額が同額の場合、評価点が高い者が落札となるのか。</p> <p>しからば評価点を考慮して入札しなければ、落札できないということか。</p> <p>応札者は、他の応札者の評価点はわかるのか。</p> <p>応札者が多い割にさほど落札率が低くならなかった理由としては何か。</p>	<p>価格競争ではなく、総合評価落札方式として価格と技術評価を総合的に評価する構成となっている。</p> <p>具体的には、①標準点から加算方式で算出しており、④評価点合計を⑤で換算し、⑧で⑥加算点の修正を行い、⑦施工体制評価点を加算し、技術点の⑨評価点を算出している。その⑨評価点を⑩金額で割った⑪評価値を高い順に順位を決定している。</p> <p>※丸数字は入札執行調書より。以下同じ。</p> <p>⑨評価点153.454を⑩金額で割った⑪評価値74.637が一番高い点数となる。</p> <p>然り。</p> <p>自社の評価点は、概ね算定できていると考えている。</p> <p>然り。</p> <p>然り。例えば、受注したい工事には、評価点の高い技術者を配置するなど、検討が必要となる。</p> <p>応札者は、他の応札者の企業評価や技術者評価の評価点がわからない。</p> <p>応札者が多いことについては、本工事が当該地域で過去に発注されたことのあるような一般的な排水路改修工事であり、本工事に係る競争参加要</p>

<p>落札率が他の工事と比べ、相対的に高いと感じられたことから抽出した。</p> <p>12 番の応札者は、なぜ無効なのか。</p> <p>低入札価格調査は、大変労力がかかるとのことだが、調査基準価格のすれすれを狙って入札することは可能か。</p>	<p>件を満たす者も 164 者と多い。昨年度も同様の工事で 10 者以上参加している。また、早期に発注した工事であること、応札者も技術者を確保しやすかったことから、15 者応札したものと推察している。</p> <p>落札率が低くならなかったことについては、コンクリート 2 次製品を現場に設置する工事で、品質確保に必要な経費と利益を確保しながら、調査基準価格に近い金額で応札したものと考えている。</p> <p>落札率が低くならなかったことで抽出案件となっているが、調査基準価格は予定価格に対して 91.3%、落札率は 91.4%と低くならなかったという印象は特段受けていない。</p> <p>応札者が入札を失念し、入札保証が所定の期限までに提出されなかったため、無効の扱いとした。</p> <p>積算に必要な基準、歩掛、単価及び調査基準価格の算出方法などは公表しているため、応札者は高い精度で調査基準価格を算出することは可能であると考えている。</p>
<p>(最上川下流左岸農業水利事業 中央排水路 (その 6) 工事)</p>	
<p>入札執行調書の 3～5 番の応札者には評価値が入っているが、それ以外の応札者はなぜ評価値が入っていないのか。</p> <p>前の抽出案件工事と比べ、企業評価が横並びになっている。評価点に差が生じないような工事となっているのか。</p>	<p>摘要欄に記載のとおり、予定価格を超過した入札のため、評価の対象としていない。</p> <p>前の抽出案件工事は、②企業評価に加え、③技術者評価を対象としているが、企業評価は一定程度同水準となることが多いが、技術者評価は技術者の施工経験等により差が生じやすい。本工事は技術者評価を対象としていないことから、差がそれほどない。</p>

<p>前の抽出案件工事の②企業評価では点数に差があるかどうか。</p> <p>水路工事について、工事現場でコンクリートを打設するより、工場で製作したものを現場に設置する方が、費用は安くなるのか。</p> <p>現場によってコスト面で有利不利はあると思うが、補修ではなく、工場で作ったものを設置する方向にシフトするといった動きはあるのか。</p> <p>簡易Ⅱ型は、前の抽出案件工事と入札方式は同じか。</p> <p>同じ簡易Ⅱ型でもカテゴリーがあることで、調書の表が違っているということか。</p>	<p>前の抽出案件工事は、大企業から中小企業まで様々な企業が参加したことから、差が生じたものと推察される。</p> <p>工事現場で一定期間、労働者を確保する場合、一般的にコストは高く、工場で製作して集中的に設置した方がコストは抑えられると考えている。</p> <p>現場条件、施工期間、経済性などを考慮して、どちらがコスト面で有利になるか現場ごとに検討している。</p> <p>前の抽出案件工事は通常の簡易Ⅱ型であるが、本工事は、簡易Ⅱ型の企業実績重視型で企業評価のみを評価している。</p> <p>然り。</p>
<p>&lt;測量・建設コンサルタント等業務編&gt;</p>	
<p>(豊沢川農業水利事業 豊沢ダム周辺整備他実施設計(その2)業務)</p>	
<p>受注可能な業者は何者いるのか。</p> <p>応札者が1者となった理由は何か。</p> <p>51者は、能力的には実施可能か。</p> <p>仙台市内には、ダム関連技術を有する企業は多</p>	<p>事前の調査では、51者が類似した業務の実績があることを確認している。</p> <p>ダム管理所外構補足設計、旧管理所周辺設計、旧放流設備周辺設計、基礎排水孔揚圧力対策の検討など多岐にわたり、かつ、ダムに関する総合的な知見を有する必要があることから、8月時点では、参加可能な業者が1者しかいなかったものと推察している。</p> <p>ダム管理施設に関する設計実績はあるため、実施は可能と考えている。</p> <p>ダム関連技術を有する企業は、本社が東京や大</p>

<p>いのか。</p> <p>51 者も全国展開している企業か。</p> <p>概要説明の中で、ダムの中に穴を開ける工事とのことだが、どのような工事か。</p> <p>これは、他のダムもそうか。</p> <p>トンネルに穴を開けたら、水浸しになるのではないか。</p> <p>豊沢ダムは、既存のダムか。</p> <p>ダム周辺整備となっているが、ダム本体は別に発注するのか。</p> <p>落札率 89.9%は、高い方なのか。</p> <p>④ ‘履行確実度が 1.00 とは、どういったことか。</p>	<p>阪に設置され、仙台市には支社があるところが多い。</p> <p>全国展開している企業も含まれている。</p> <p>コンクリートダムは、岩盤にコンクリートを打設しているが、地下水が高いとダムを浮き上がらせる浮力が発生し、ダムの安全性に影響を及ぼすため、ボーリングで排水孔を設け、地下水を排出する必要がある。排水孔は元々あったが、目詰まりしていたので新たに排水孔を設けて圧力を下げる必要がある。</p> <p>また、排水孔は、ダムを管理するトンネル（監査廊）の下に設置する工事である。</p> <p>全てのダムではないが、コンクリートダムの場合は、地下水の排水先がなく、また排水孔の目詰まり等により、揚圧力が下がらないことがあるので、追加工事が必要な場合もある。</p> <p>地下水を排水できるようになっているので、水浸しになることはない。</p> <p>既存ダムの改修である。</p> <p>この業務は、来年度に工事をするための設計、積算をする業務でダム本体と環境整備を含めて行うものである。</p> <p>本業務の調査基準価格は 8 割程度で設定しているが、今回の落札額は約 9 割であり、落札率は決して高いものではない。</p> <p>競争相手が多いと見込めば、業者は調査基準価格に近い価格で入札するものと推察される。</p> <p>履行確実度は、予定価格が 1 千万円を超える業務について、開札後、履行が確実に実行されるかを調査し、予定価格から調査基準価格までの間で入札した場合は履行可能として 1.00、調査基準価格を下回った場合は 1.00 未満となり、技術点を補正す</p>
--	---

<p>仮に調査基準価格を下回った場合で、低入札価格調査において履行できると判断した場合でも、点数は変わらないのか。</p>	<p>るものである。  工事も同様に、施工体制評価点がある。</p> <p>1.00 未満の 0.50 等の係数となり技術点を補正することになる。  この内容については、入札説明書に記載しており、応札者はこのことを理解して入札していると考えている。</p>
<p>(豊沢川農業水利事業 豊沢川地区事業誌編纂 (その1) 業務)</p>	
<p>事業誌編纂業務は、一般的に他の事業でも実施しているものか。</p> <p>例えば、本日、現地視察した事業も、事業誌を作成するのか。</p> <p>何に活用されるものか。狙いは何か。</p> <p>外注ではなく、職員自ら作った方が、よりよいものができるのではないか。外注のメリットは何か。</p>	<p>国営事業地区では、一般的に実施している業務である。</p> <p>国営かんがい排水事業は作成するが、応急対策事業では作成していない。</p> <p>事業の経緯や技術を継承し、次期更新時の参考として活用するほか、県や市、土地改良区など関係者に国の事業内容や成果を報告する義務もあるので、製本のうえ配布している。</p> <p>御指摘のとおり職員が作成できればよいが、現実的に職員が資料収集から編纂までを実施することは難しいため外注している。</p> <p>具体的には、一職員が事業期間の全てに関わっているのであれば、それも可能と考えるが、人事異動により事業を一貫して関わっているわけではない。</p> <p>豊沢川農業水利事業建設所において、職員が数名しかおらず、工事監督等の業務がある中で、過去の書類を整理したり、まとめたりする労力がかかるため現実的に困難である。</p> <p>他方、コンサルタント業者は、他で事業誌編纂に関する業務を実施した経験や実績があり、ノウハウが蓄積されていることから、将来に継承する技術情報を的確に収集して編纂する知見を有していると考えている。</p>

<p>事業誌編纂の具体的なポイントは何か。</p>	<p>本事業では、ダムの改修、管理システム、管理方法及び小水力発電の目的、経緯、技術などの情報を集約し、また、排水孔揚圧力対策を追加した経緯、目的などもまとめることになると考えている。</p>
<p>事業誌はどれくらいの期間で完成するのか。</p>	<p>この事業の事業誌は、約2年間で完成する。</p>
<p>編纂とは、製本まで含まれるのか。</p>	<p>今年度は、事業誌原稿の案を作成し、来年度は本年度工事等の状況を反映し、事業誌を製本する。</p>
<p>来年度分は、別契約か。</p>	<p>別契約である。</p>
<p>参加表明は3者だが、農業技術は普通の出版社では知識がなく、業者が限られるのではないか。</p>	<p>過去に経験がないと難しいと想定するが、編纂能力が高い者を、プロポーザル方式により選定することは重要である。</p>
<p>事業誌の作成は、法令や通達で決まっているものか。</p>	<p>法令や通達に定めはなく、今後の事業に活用するための技術資料である。 前歴事業でも事業誌があり、今回の更新事業でも活用して編纂することになる。</p>
<p>前歴事業も含めて作成するとすると、成果物は厚みを増すのではないか。</p>	<p>前歴事業の内容は要約しながらも、当該地域の事業に係る沿革では前歴事業を含めて整理することになる。</p>
<p>成果物は、どんな形態なのか。</p>	<p>A4判で写真データを含めた2～3cmの冊子と電子データとしてCD-Rで納品される。</p>
<p>来年度もこの業務を継続して行うとのことだが、この業者が落札するのか。</p>	<p>入札の結果次第のため、いずれの業者が落札するかは分からない。</p>
<p>他者は不利にならないのか。</p>	<p>来年度の入札時には、今年度の成果品を閲覧してから入札することになるので、不利になることはないと考えている。</p>
<p>来年度も、同じ業者が落札することが多いのか。</p>	<p>入札のため、どの業者が落札するのかは分からないが、経験がある方が有利に働く可能性はある。 今年度受注した業者が、次年度業務も落札した</p>

<p>来年度の入札方式はどうなるのか。</p>	<p>いという意欲は高いものと推察される。</p> <p>初年度は事業誌内容の企画を含むため、プロポーザル方式で実施したが、次年度は本年度業務を踏まえて、一部、工事の実施状況等の更新や製本等の作業となるため、必ずしもプロポーザル方式でなければいけないものではない。</p>
<p>&lt;物品・役務編&gt;</p>	
<p>(小型脱芒脱穀機4台ほか8点の購入)</p>	
<p>応札者の入札額がほぼ同額となっているが、1台当たりの金額がある程度決まっていることから、そういった結果になったのか。</p> <p>入札金額が5,000円の僅差となることは、結構あることなのか。</p> <p>特殊な農機具なのか。</p> <p>落札した業者は、自社製のものか、それとも「大屋製」のものを提案したのか。</p> <p>製造元より安い価格で入札したのか。</p> <p>米のできを検査するものか。</p> <p>各県拠点で使用するものか。経年劣化により更新するものか。</p>	<p>農機具の価格には大差はなく、それ以外の部分で差が生じた。</p> <p>落札した業者は、参考見積りの際は落札価格より100万円以上高い価格であったが、結果的に同じくらいになった。2番の業者は参考見積りと変わらない金額で入札している。会社の戦略的なものもあると推察される。</p> <p>同額となることもあるので、偶然そうだったものと考えている。</p> <p>一般的な農作業に使用するものとは違い、調査用として特殊なものとなっている。</p> <p>仕様書に基準品として「大屋製」としているが、それ以外でも同等品であれば入札可能としている。</p> <p>自社製ではなく、基準品の「大屋製」のものを提案している。</p> <p>この製品に関しては、価格の差は生じなかったが、他の製品で差が生じた。</p> <p>然り。</p> <p>各県拠点において使用していて、今回更新したものは、15年以上経過しており、計画的に購入し</p>

<p>購入品目に精密分銅セットがあり、測定がアナログであるが、測定方法としてデジタルメーターではいけないものか。</p> <p>そんなに精密でないといけないものか。</p>	<p>たものである。</p> <p>各県拠点でデジタルの天秤ばかりを使用しているが、その天秤ばかりが正確に稼働しているのか点検するために、検査用として精密分銅セットを1セット購入し、順次点検を行い、異常があれば修理等を行うものである。</p> <p>玄米重の計量や、玄米千粒重では、10g 中何粒入っているか数えて、粒の大きさを測定したり、正確なものではないといけない。</p>
<p>(令和6年度農業基盤情報基礎調査電子化業務)</p>	
<p>受注者はどんな業務を行うのか。</p> <p>入札額と予定価格を比較すると、4分の1程度で入札しているがどうか。</p> <p>参考見積りをそのまま予定価格にしているのか。</p> <p>ソフトとはいえ予定価格の4分の1程度で落札しているが、あり得ることなのか。</p> <p>物価が高騰している中で、IT 関係やデジタル関</p>	<p>各事業で実施した工事の図面を、専用ソフト上でデータ化する業務である。</p> <p>予定価格作成に当たっては、標準的に定められているものはないため、過去に本業務に参加した業者から作業員を参考見積りとして徴取し、その価格を評価した上で予定価格に反映させている。</p> <p>いずれの応札者も過去に入札参加した経験を有している業者のため、実際の作業となればより効率的に実施できると判断し、低い価格で入札したものと推察している。</p> <p>入札ルールに即し、7者から参考見積りを徴取し、異常値を棄却した上で平均価格に最も近い歩掛を予定価格としている。</p> <p>対象物や作業が決まっている工事であれば、資材や人夫のデータから積算できるが、本業務は人夫が明確でないので、参考見積りにより積算するしかない。</p> <p>また、3者の入札額が近い価格となっているので、この価格で実施可能と判断している。</p> <p>他の業界のため、不明である。</p>

<p>係なども、高くなっているのではないか。</p> <p>低入札価格調査の対象ではないのか。</p> <p>参考見積りを徴取する際、どのような内容で依頼しているのか。</p> <p>具体的に、業者は作業内容を理解して入札しているのか。</p> <p>応札者が予定価格に比べて低い価格で入札する理由は何か。データ更新等を主とした業務で効率的に行えると判断したのか。</p> <p>新規参入は難しいのではないか。</p>	<p>低入札価格調査は、予定価格が 1,000 万円以上のものが対象となっているため、本業務は対象外となる。</p> <p>地区数と作業内容を明示し、当該作業に必要な作業人員に係る情報を徴取している。</p> <p>特別仕様書に目的、作業項目、作業内容を具体的に記載しており、参考見積りを依頼する際にも同様の内容を提示しているため、理解して入札しているものと考えている。</p> <p>整備状況を図面等からデータベース化する業務であり、単純なデータを更新する業務ではない。参加している業者は、これまでの各農政局での実績や経験があるため、会社として作業手順などを理解して応札した結果と推察している。</p> <p>難しい現状のように見受けられる。</p>
---	--